

高御位山〈たかみくらやま〉と牛島〈うしじま〉（志方町西志方）

高御位〈たかみくら〉山は、印南〈いんなみ〉郡でいちばん高い山です。ところが、大昔は、まだ、それほど高い山ではなく、牛〈うし〉山という山と仲よく並んでいました。

あるときのこと、高御位山〈たかみくらやま〉の神様と牛〈うし〉山の神様とがけんかをされました。そのとき、牛山の神様は負け、はるか沖合へ投げとばされてしまいました。高御位山の神様の勢力〈せいりよく〉がいちだんと強くなったことはいうまでもありません。そのためでしょう、それまで海であったまわりの地はだんだん持ちあげられ、りっぱな陸地となりました。そして、とうとう、この地方第一の高い山になりました。

一方、負けた牛山は、海の中にとりのこされて、「牛島」と呼ばれました。そのうえ、背〈せい〉もだんだん低くなり、ほうらくを伏せたような形になりました。播磨灘〈はりまなだ〉に、ポツンと、ひとりとのこされたように浮かんでいる「ほうらく島」は、この「牛山」のなれのはてだということです。

